【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第３区分
【発行日】平成20年3月27日(2008.3.27)

【公開番号】特開2006-218585(P2006-218585A)
【公開日】平成18年8月24日(2006.8.24)
【年通号数】公開・登録公報2006-033
【出願番号】特願2005-35388(P2005-35388)
【国際特許分類】
Ｂ２５Ｃ　7/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ２５Ｃ　7/00　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成20年2月12日(2008.2.12)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
圧縮空気を蓄える蓄圧室を区画する筐体と、
前記筐体内に設けられた円筒状のシリンダと、
前記シリンダ内に往復摺動可能に設けられたピストンと、
前記ピストンの下面に一体又は別体に固定され、該ピストンの下死点において該ピストン下面より前記シリンダの外部下方部に延在し、前記ピストンの往復運動により釘を打撃するドライバブレードと、
前記シリンダの上部周縁部に対して上下動可能に設けられ、前記ピストンの上面を含む壁部によって区画されるピストン上室から前記蓄圧室への空気通路又は大気への空気通路を択一的に形成するヘッドバルブと、
前記シリンダの上方部において設けられ、前記ヘッドバルブの上下動に対し当接又は非当接することによって、前記ヘッドバルブと協働して前記ピストン上室から大気への空気通路を形成する、弾性材料から成るエキゾーストバルブラバーと、
前記シリンダの上方部において前記筐体と一体形成され、前記ヘッドバルブを収容するヘッドバルブ区画部、前記エキゾーストバルブラバーの固定部を装着する装着部、及び大気に連通する排気穴を備えるエキゾーストカバーと、を有する釘打機において、
前記エキゾーストカバーの前記装着部は、前記エキゾーストカバーの平板部の下面より上面に貫通する第１の径を有する案内穴部を有し、前記エキゾーストバルブラバーの前記固定部は、前記第１の径と実質的に同等若しくはそれより小さい第２の径を有する柱状の案内径部、及び該柱状案内径部に連続する該案内径部より大きい第３の径を有する柱状の掛止径部とを備え、
前記エキゾーストバルブラバーの前記柱状掛止径部を前記前記エキゾーストカバー案内穴部より小さくしながら該案内穴部に挿入し、該エキゾーストバルブラバーの前記案内径部を該案内穴部内に位置せしめることによって前記エキゾーストバルブラバーを前記エキゾーストカバーに掛止させ、
前記エキゾーストカバーの前記案内穴部は、前記ピストンの中心軸線上に配置され、前記ピストンの上死点における該ピストンの中央部と前記エキゾーストバルブラバーとの接触面に対応する部分において、前記エキゾーストバルブラバーから離間されていることを特徴とする釘打機。

【請求項２】
前記エキゾーストカバーの前記案内穴部は、前記ピストンの中心軸線上に配置された凹部から構成され、前記案内穴部は、該凹部の平板底部に形成され、前記前記エキゾーストバルブラバーの前記柱状掛止径部は前記凹部内に収容されていることを特徴とする請求項１に記載された釘打機。
【請求項３】
前記エキゾーストバルブラバーは、前記柱状の案内径部及び掛止径部の周辺を取囲むように、前記案内径部及び掛止径部と一体形成された筒状壁部を有し、該筒状壁部は、前記エキゾーストカバーの前記凹部の外周面を包囲するように配設されていることを特徴とする請求項２に記載された釘打機。